

# 2019 年 IEEE 東京支部 総会資料

2019 年 3 月 27 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

## 2019 年 IEEE 東京支部総会

### 総 会

日 時： 2019 年 3 月 27 日（水） 14 時 30 分～15 時 00 分

場 所： 機械振興会館 6 階 66  
東京都港区芝公園 3-5-8

議 題：

第 1 号議案：2019-2020 年役員・理事選出【決議事項】

第 2 号議案：2018 年活動報告【以下、報告事項】

第 3 号議案：2018 年決算報告

第 4 号議案：2019 年活動計画

第 5 号議案：2019 年予算

### 講 演 会

日 時：2019 年 3 月 27 日（水） 15 時 10 分～16 時 10 分

場 所： 同 上

講演者： 中村 淳一 氏 (Brillnics Japan)

演 題：「CMOS イメージセンサの開発経緯と重要技術」

### 新 Fellow 表彰式

日 時： 2019 年 3 月 27 日（水） 16 時 20 分～17 時 00 分

場 所： 同 上

### 懇 親 会

日 時： 2019 年 3 月 27 日（水） 17 時 00 分～19 時 00 分

場 所： 機械振興会館 5 階 倶楽部

## 2019-2020 年 IEEE 東京支部役員・理事・委員会

## 1. 役員

Chair	支部長	徳田 英幸	(NICT)
Vice Chair	副支部長	宇佐見 正士	(KDDI)
Secretary	セクレタリ	滝嶋 康弘	(KDDI 総合研究所)
Treasurer	トレジャラ	羽瀧 裕真	(茨城大学)

## 2. 理事会メンバー

*徳田 英幸 (NICT)	*稲森 真美子 (東海大学)
*宇佐見 正士 (KDDI)	*鈴木 浩 (日本経済大学大学院)
*滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)	高野 忠 (元 宇宙航空研究開発機構)
*羽瀧 裕真 (茨城大学)	吉田 嵩 (東京都立産業技術高等専門学校)
*奥村 治彦 (東芝)	笹瀬 巖 (慶応義塾大学)
*東盛 裕一 (ツルギフォトニクス財団)	杉江 利彦 (NTT エレクトロニクス)
*中村 浩史 (古河電気工業)	眞田 幸俊 (慶応義塾大学)
*種村 拓夫 (東京大学)	野田 夏子 (芝浦工業大学)
*川西 哲也 (早稲田大学)	重松 昌行 (住友電工)
*田中 英明 (KDDI 総合研究所)	

(注：\*印は、理事会の Voting Member)

## 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	奥村 治彦 (東芝)	坂東 幸浩 (NTT)	添谷 みゆき (東芝)
Fellow Nominations	東盛 裕一 (ツルギフォトニクス財団)	粕川 秋彦 (古河電工)	布谷 伸浩 (NTT)
Membership Development	中村 浩史 (古河電気工業)	井 通暁 (東京大学)	横田 知之 (東京大学)
Nominations	種村 拓夫 (東京大学)	笠 史郎 (明治大学)	雨宮 智宏 (東京工業大学)
Technical Program	川西 哲也 (早稲田大学)	桧垣 誠 (東芝)	菅野 敦史 (NICT)
Publications	田中 英明 (KDDI 総合研究所)	滝嶋 康弘 (KDDI 総合研究所)	吉原 貴仁 (KDDI 総合研究所)
Student Activities	稲森 真美子 (東海大学)	中村 聡 (東京理科大学)	重宗 宏毅 (早稲田大学)
History	鈴木 浩 (日本経済大学大学院)	山田 崇史 (NTT)	橋本 真幸 (KDDI)

## IEEE 東京支部 2018 年 活動報告

### Organizational Activities

- 2018 年 IEEE 東京支部総会 参加者：39 名  
3 月 29 日 (木) 14 時 30 分～15 時 00 分
  - ・ 2017 年活動実績および会計、2018 年活動計画および予算が報告された。
  
- 理事会
  - ・ 第 1 回理事会：2018 年 3 月 29 日 (木) 12:00～13:45 参加者：18 名
  - ・ 第 2 回理事会：2018 年 6 月 15 日 (金) 15:00～17:00 参加者：15 名
  - ・ 第 3 回理事会：2018 年 9 月 28 日 (金) 15:00～17:00 参加者：15 名
  - ・ 第 4 回理事会：2018 年 12 月 18 日 (火) 14:30～17:00 参加者：28 名
  
- 2019/2020 年 IEEE 東京支部役員・理事候補者の公告  
2018 年 8 月 24 日 Tokyo Bulletin 第 111 号に掲載  
2018 年 10 月 25 日 追加指名公告結果を Tokyo Bulletin 第 113 号に掲載

### Professional and Continuing Education Activities

- 講演会/見学会
  1. 2018 年 3 月 29 日(木)：東京支部総会 講演会  
講師：平川 恵悟 氏 (University of Dayton)  
演題：「Camera-Aware Multi-Resolution Analysis for Raw Image Sensor Data Compression」  
場所：機械振興会館
  
  2. 2018 年 5 月 15 日(火)：「LMAG-Tokyo イブニングサロン」  
講師：直井 聡 氏 (富士通研究所 フェロー 兼 富士通研究開発中心有限公司(FRDC) CEO)  
演題：「中国の IT 動向と富士通の中国研究所の活動」  
場所：機械振興会館
  
  3. 2018 年 7 月 5 日(木)：東京支部 LMAG / TPC 共催講演会  
講師：鈴木 浩 氏

(日本経済大 大学院経営学研究科長 メタエンジニアリング研究所長)

演題：「再生可能エネルギー、光と影」

場所：機械振興会館

4. 2018年7月9日(月)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会  
講師：井口 俊夫 氏 (国立研究開発法人 情報通信研究機構)  
演題：「Radar Measurement of Precipitation from Space」  
場所：機械振興会館
5. 2018年9月6日(木)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会  
講師：納富 雅也 氏 (NTT 物性科学基礎研究所ナノフォトニクスセンタ上  
席特別研究員・東京工業大学理学院 教授)  
演題：「フォトニック結晶による集積ナノフォトニクス技術」  
場所：機械振興会館
6. 2018年9月10日(月)：東京支部 LMAG 主催 / HC・TPC 共催 見学会・講  
演会  
講師：立松 健一 氏 (国立天文台 教授・野辺山宇宙電波観測所長)  
演題：「野辺山 45m 電波望遠鏡が明らかにする宇宙の姿」  
場所：国立天文台・野辺山宇宙電波観測所
7. 2018年9月27日(木)：東京支部 LMAG 主催 / TPC 共催 見学会・講演会  
講師：小瀬木 滋 氏 (電子航法研究所 所長)  
演題：「航空管制とは？」  
場所：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 「電子航法研究所」
8. 2018年11月8日(木)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催見学会・講演会  
講師：奥村 治彦 氏 (東芝 研究開発センター メディア AI ラボラトリー シ  
ニアフェロー／千葉大学工学研究院 客員教授)  
演題：「新たな映像技術がもたらすイノベーション — 空間に浮かべる映像  
が人間の機能を拡張する —」  
場所：東芝未来科学館
9. 2018年12月10日(月)：東京支部 TPC 主催 / LMAG 共催 講演会  
講師：廣瀬 明氏 (東京大学大学院工学研究科 教授)  
演題：「複素ニューラルネットワークの基本アイデアと今後の展開

— 地球 AI から超低消費電力ニューロデバイスまで —

場所：機械振興会館

10. 2018年12月25日(火)：東京支部 LMAG 主催 / TPC 共催 見学会

内容：日本自動車研究所 見学会

場所：一般財団法人日本自動車研究所 (JARI)

## Students Activities

- 4月11日 電気通信大学 新入生向けレポートの書き方講座
- 4月21日 東京農工大学 SB 新メンバー勧誘
- 5月2日～16日 東京農工大学 TeX ワークショップ
- 5月17日 電気通信大学 LaTeX 講座
- 6月28日 東京農工大学 前期 SB 内ワークショップ
- 8月7日～8日 Japan Council SAC 主催 IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 東京大学・中央大学・慶応義塾大学を除く SB が参加
- 11月3日 TOWERS 実行委員会 15<sup>th</sup> IEEE TOWERS (慶應義塾大学)
- 11月中旬 電気通信大学 スライド書き方講座

## Affinity Group Activities

- Young Professionals(YP)
  1. 1月27日 2018年度東京 YP キックオフ  
(東京理科大学 葛飾キャンパス)
  2. 2月24日 横浜市次世代育成事業 もの作り教室「みんな知らない波の世界」(関東学院大 金沢八景キャンパス)
  3. 3月21日 再生医療学会総会 中高生のためのセッションの活動報告  
(パシフィコ横浜)
  4. 7月7日 第3回ハックチャレンジ (日本大学 文理学部キャンパス)
  5. 7月12日 キャリアナビゲータ (青森県むつ市 第2田名部小学校)  
(Tokyo SIGHT 主催、東京 YP 共催)
  6. 7月25日 COMPSAC 2018 Special Young Professionals Session 開催  
(国立情報学研究所(NII))
  7. 8月2日 こども霞が関見学デーでの出張授業 (文部科学省)
  8. 9月19日 第7回 STEP Event 企業見学会 (大日本印刷)
  9. 9月～10月 第10回 キャリアアップに関するエッセイコンテスト
  10. 11月3日 15<sup>th</sup> IEEE TOWERS 後援 (慶應義塾大学)
  11. 12月1日 Tokyo YP 10th Anniversary Congress  
(日本大学 文理学部キャンパス)

- Life Members Affinity Group(LMAG)
  1. 1月9日 新 Life Members への昇格お祝いメッセージの送付
  2. 1月中 LMAG-Tokyo ニュースレター (紙媒体) の送付
  3. 1月31日 第1回役員会開催
  4. 3月30日 名古屋支部 LMAG 見学会への協力
  5. 3月29日 2018年 LMAG 総会開催
  6. 3月29日 東京支部総会講演会 (第1回) を TPC と共催
  7. 5月15日 LMAG イブニングサロン (第2回) 開催
  8. 5月23日 LMAG-Tokyo ニュースレター発行
  9. 7月5日 第3回東京支部講演会開催 (LMAG 主催 TPC 共催)
  10. 7月9日 第4回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
  11. 8月29日～9月2日  
R10 SYWL Congress 2018 (Bali) LMAG 活動の報告
  12. 9月6日 第5回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
  13. 9月10日 LMAG 主催 国立天文台・野辺山宇宙電波観測所  
見学会/講演会 (第6回)
  14. 9月27日 LMAG 主催 電子航法研究所 見学会/講演会 (第7回)
  15. 10月31日 LMAG 役員候補の信任通知 配信 (10月5日公告)
  16. 10月31日 LMAG-Tokyo ニュースレター発行
  17. 11月8日 第8回東京支部 見学会/講演会開催  
(TPC 主催 LMAG 共催)
  18. 12月10日 第9回東京支部講演会開催 (TPC 主催 LMAG 共催)
  19. 12月25日 LMAG 主催日本自動車研究所見学会 (第10回)

## **Awards & Recognition Activities**

- 2018年 新 Fellow 表彰式  
2018年3月29日 (木) 16:20～17:00  
2018年新 Fellow に昇格された6名のうち5名が表彰式に出席した。
- IEEE Region 10 Awards
  - ・ 2017R10 Young Professional Affinity Group : 東京支部 YP が受賞  
(受賞式 2018.3)
  - ・ 2017R10 Young Professionals Outstanding Volunteer in Academic : 東京支部  
2015-16YP Chair 西宮幸治郎氏が受賞(受賞式 2018.3)
  - ・ 2018R10 Best Membership Retention Large Section Award : 東京支部が受賞  
(受賞式 2019.3)
  - ・ 2018R10 Young Professionals Outstanding Volunteer in Industry Award : 東京

支部 2017-19YP Chair 鈴木麻由美氏が受賞(受賞式 2019.3)

● IEEE MGA

- ・ 2018 Outstanding Section Membership Recruitment Performance : 東京支部が受賞

## Communication Activities

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

IEEE Tokyo Bulletin およびメルマガ発行

- ・ No.109 (3月16日) ・ No.110 (5月8日) ・ No.111 (8月24日)
- ・ No.112 (9月25日) ・ No.113 (10月25日) ・ No.114 (12月26日)
- ・ No.115 (12月28日)
- ・ Region 10 Newsletter を 2 件投稿

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

[東京支部] 主な更新ページ

- ・ TOP 更新情報 » IEEE 会員資格更新のご案内、"2018 Outstanding Section Membership Recruitment Performance" 受賞のお知らせ、等
- ・ 東京支部について » 概要、役員/理事
- ・ 活動報告 » 総会報告、理事会議事録、Tokyo Bulletin
- ・ 講演会・イベント » 主催・共催講演会、協賛イベント
- ・ お問い合わせ » IEEE 東京支部国内会員へのメール配信について

[Japan Council] 主な更新ページ

- ・ TOP 更新情報 » 2018IEEE Annual Election 投票のお願い、IEEE 会員資格更新のご案内、等
- ・ Japan Council について » 会員構成、理事会構成
- ・ 活動 » 2018 年 IEEE Japan Council 活動計画、主要スケジュール、理事会議事録、Chapter 活動 (Chapter 活動におけるメール配信について)、Young Professionals Coordinator、LMAG Coordinator
- ・ IEEE 表彰制度 » 日本からの IEEE-Level Award 年度別受賞者
- ・ 会員について » Senior Member 昇格要件、Senior Member 申請方法、Senior Member リスト、IEEE Fellow 受賞者
- ・ お問い合わせ » Japan Council 国内会員へのメール配信について、WebEx について、理事専用ページ

[東京支部/JC HP 全般]

- ・ Senior Member 昇格要件/申請方法

本部 Web Site の変更に伴い、Membership Development Committee(MDC)協力のもと[Senior Member 昇格要件]・ [Senior Member 申請方法] 各ページについて適宜更新を行った。

(リンク修正や記載事項の重複箇所、不整合箇所の統一)

[https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember\\_requirements.html](https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember_requirements.html)

[https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember\\_application.html](https://ieee-jp.org/kaiin/seniormember_application.html)

## Membership Development Activities

- 会員維持の取組
  - ・「会員資格自動更新のお願い」をメール配信 (2018年7月1日)
  - ・「IEEE Senior Member 昇格申請についてのご案内」を一般会員にメール配信 (2018年10月18日)
  - ・「会員資格更新のご案内」をメール配信 (2018年10月19日)
  - ・「2020 IEEE フェローノミネーションのお願い」をメール配信 (2018年11月14日)

## Chapter Activities

- 国際会議の MOU 締結 : 5 件(Joint Chapter) (FCS : 2 件、TCS : 3 件)

## Other Organizational Activities

- Region 10 Meeting 2018 が Berjaya Langkawi Resort (マレーシア) で開催され、東京支部より Primary Delegate 笹瀬 Chair が参加した。(3月3日(土)、4日(日))
- Region 10 SYWL Congress 2018 が Bali (インドネシア) で開催され、東京支部より 10 名が参加した。  
内訳 :  
東京支部支援 3 名 (LMAG 高野 Vice Chair、YP 鈴木 Chair、竹村氏)  
Japan Council 支援 7 名 (Student4 名、WIE2 名、YP Coordinator1 名)
- IEEE Tokyo Section SIGHT 設立
  - ・東京支部における SIGHT 設立の申請が、2018年3月1日(木)に Global SIGHT より正式に承認され、SIGHT 設立プレキックオフミーティングを以下の通り開催した。

**IEEE Tokyo SIGHT Kick-off Meeting 【参加者 16 名】**

日時：2018年2月25日（日）9:30-12:00

会場：青山学院大学 相模原キャンパス

- ・7月7日 第3回ハックチャレンジ（日本大学 文理学部キャンパス）  
（東京 YP 主催、Tokyo SIGHT 共催）
- ・7月12日 キャリアナビゲータ（青森県むつ市 第2田名部小学校）  
（Tokyo SIGHT 主催、東京 YP 共催）
- ・11月10日 IEEE WIE ILS 2018 Tokyo（SIGHT Session）

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2005	7,708	237	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-128	-1.66	2	335	465	5,714	481	583
2007	7,560	-20	-0.26	2	334	451	5,722	491	560
2008	7,630	70	0.93	2	336	459	5,731	449	653
2009	7,814	184	2.41	2	336	459	5,880	408	729
2010	7,865	51	0.65	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2015	14,326	95	0.67	4	521	915	10,594	401	1,891
2016	14,266	-60	-0.42	3	519	935	10,631	369	1,809
2017	14,214	-52	-0.36	3	509	974	10,494	361	1,873
2018	14,368	154	1.08	3	493	991	10,532	363	1,986

略号： HM: Honorary Member  
M: Member

F: Fellow  
A: Associate

SM: Senior Member  
St: Graduate Student, Student

## IEEE 東京支部 2018年度 会計報告 (活動ベース)

2018/2/15

単位: JPY

予算: US\$1=¥102-

【収入の部】	2018年予算	2018年決算	予算比	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	92,506	-	参加費徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,211,776	3,169,462	99%	\$28,639-
YP Rebate	23,540	32,647	139%	\$295-
LMAG Rebate	31,565	32,648	103%	\$295-
SB Rebate	0	53,737	-	
Chapter Rebate	1,055,555	967,268	92%	\$8,735-
320 Region Receipts LMAG FUND	107,000	0	0%	受領不可
YP FUND	53,500	118,236	221%	Carreer Day, STEP\$500-×2件受領済・\$750×1件 受領 予定 (COMPSAC・YP10th)
その他FUND等		673,523		SIGHT\$250-、SIGHT HAC \$3,000- (WIE ILS) R10 SYWLサポート \$500-、Golden Jubilee book \$500- Incentive grants \$1,500
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	1,910,121	2,012,234	105%	SA総額の13%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	172,800	176,800	102%	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,693,240	15,478,723	105%	\$142,691 (平均レート ¥108.48)
340 雑収入 (CB口座)	7,000	22,664	324%	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	85	3%	
<b>収入合計</b>	<b>21,269,097</b>	<b>22,830,533</b>	<b>-</b>	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	250,000	317,168	127%	
その他会費	50,000	0	0%	
総会運営費用	650,000	589,276	91%	
講演会開催費用	300,000	377,759	126%	うち ¥92,506-参加費徴収分など
480 Student Activities SB支援費	700,000	213,811	31%	
SB Rebate支払	0	0	-	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	150,000	119,408	80%	News L費用 支部補助分約 ¥86,000-
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	363,500	646,181	178%	
SIGHT(FUND支払)		368,798		SIGHT関連
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,693,240	15,475,723	105%	
Chapter Rebate 支払い	1,055,555	977,371	93%	
事務局費1 計	2,324,000	2,316,248	100%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担) 追加6万円 (稼働費20%)
事務局費2 計	136,000	135,358	100%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	290,696	85%	監査費用・東京支部用PC購入
予備費	700,000	513,585	73%	R10SYWL 3名支援 ¥513,585
<b>支出合計</b>	<b>21,715,095</b>	<b>22,341,382</b>	<b>103%</b>	
収入-支出	-445,998	489,151	-110%	
前年度からの繰越金	7,263,995	7,263,995	100%	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	6,817,997	7,753,146	114%	(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1: 事務局費1~2については予算月割りの暫定額にて報告)

12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	10,781,346
内訳 普通預金	9,641,369
小口現金	20,000
東京YP口座	605,067
CB口座	514,910 (\$2,987.11-×112.65 (12末) )

## 2018年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

本部報告(YP口座・本部引当金を含む)、監査基準

科 目	2018年12月31日	2017年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	9,641,369	9,266,341
○普通預金 (YP)	605,067	228,619
○CB預金	514,910	336,498
◇現金・預金合計	10,781,346	9,851,458
◇その他流動資産	※1 248,040	34,857
流動資産合計:	11,029,386	9,886,315
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計:	145,600	145,600
資産合計:	11,174,986	10,031,915
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	※2 3,276,240	※2 2,622,320
2. 固定負債 (本部)		
	3,277,505	3,277,505
負債合計:	6,553,745	5,899,825
3. 正味財産		
負債および正味財産合計:	11,174,986	10,031,915
<b>Profit and Loss</b>		
I. 収益の部		
2. 10) 会議等参加費	92,506	93,000
3. 10) 本部からのRebate受取	4,255,762	4,417,976
3. 20) 本部からのFund受取	791,759	252,389
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,012,234	1,524,633
3. 32) その他本部からの受取	176,800	216,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	15,478,723	15,246,321
3. 40/3. 45) 受取利息	22,749	9,148
3. 70) その他受取	-	-
収益合計:	22,830,533	21,759,467
II. 費用の部		
4. 10) 会合費	1,284,203	740,311
4. 80) Student Branch支援費	213,811	530,721
4. 90) その他活動費	1,647,972	791,338
5. 10) 事務所賃借料	557,978	557,065
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,551,301	1,564,932
5. 50) 支部およびChapter支援	16,453,094	16,335,242
5. 60) 事務局費および一般管理費	633,023	677,546
7. 00) Reserve Allocation Expense (本部)	-	-
費用合計:	22,341,382	21,197,155
正味財産増減額	489,151	562,312
期首正味財産	4,132,090	3,569,778
期末正味財産	4,621,241	4,132,090

科 目	2018年12月31日	2017年12月31日
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	92,506	93,000
3. 10) 本部からのRebate受取	4,255,762	4,417,976
3. 20) 本部からのFund受取	578,576	217,532
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,012,234	1,524,633
3. 32) その他本部からの受取	176,800	216,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	15,478,723	15,246,321
3. 40/3. 45) 受取利息	22,749	9,148
収入合計 :	22,617,350	21,724,610
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	1,190,459	775,850
4. 80) Student Branch支援費	112,112	505,144
4. 90) その他活動費	1,151,321	734,937
5. 10) 事務所賃借料	557,065	560,393
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	1,564,932	1,838,240
5. 50) 支部およびChapter支援	16,453,094	16,335,242
5. 60) 事務局費および一般管理費	658,479	606,901
支出合計 :	21,687,462	21,356,707
現金・預金増減額	929,888	367,903
期首現金・預金残高	9,851,458	9,483,555
期末現金・預金残高	10,781,346	9,851,458

※1) 2018年度 未収 Fund (本部)

※2) 2018年度 未払 SB支援費・YP活動費、および事務局費 (Japan Council立替分)

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2018.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Reserve Allocation Payable stated at JPY3,277,505 at December 31, 2018; nor were we able to satisfy ourselves as to the carrying amount of the bank account and the payable by other auditing procedures.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2018 or the result of its operation or cash flow for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account and the payable, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2018 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

*Mori & Co.*

*Mori & Co.*

February 14, 2019

## IEEE 東京支部 2019 年 活動計画

### 1. 総会及び理事会

- 2019 年 IEEE 東京支部総会  
3 月 27 日(水)14 時 30 分～15 時 00 分 開催予定
- 理事会  
以下日程にて開催予定  
第 1 回理事会: 2019 年 3 月 27 日(水) 12:00～13:55 機械振興会館  
第 2 回理事会: 2019 年 6 月 12 日(水) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋  
第 3 回理事会: 2019 年 9 月 30 日(月) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋  
第 4 回理事会: 2019 年 12 月 11 日(水) 15:00～17:30 KDDI(株)飯田橋

### 2. 財政運営

6年前の円高に対応し、2013-14 年執行部により効果的な財政的な運用が行われた。その後の円安もあり、2018 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2019 年では、会員獲得、会員維持、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策を増やすなど、より積極的な運営をこころがける。

### 3. 講演会・学生支援活動

- **東京支部講演会の開催**  
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals)ほか各グループとの共催を積極的に推進する。
- **Students Branch の支援**  
東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大

学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部SBがあり(全国合計 32 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやランチ活動への経済的支援などを通じたランチ活動の活性化に協力するとともに、ランチ新設への働きかけを行う。

#### 4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。また、2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。さらに、LMAG、YP に加え、Student Branch、Japan Council Women in Engineering との世代、分野、所属を超えた連携・交流を推進する。

- **Young Professionals**

2018 年 11 月で設立 10 周年の節目を迎えたことから、次のステップに向けた活発な活動を行う。

- **Life Members**

3 月 27 日(水)14:00~14:25 LMAG 総会

LMAG 見学会、サロンなど、引き続き Life 会員の交流を行う。

#### 5. 認定及び表彰支援

- **Milestone 認定支援**

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。

- **IEEE Fellow の推薦支援**

「より多くのノミネーションを得る」、「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」、「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を行うとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで、推薦数増、および Fellow への昇格数の増を図る。

## 6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

- **ホームページと Tokyo Bulletin**

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- **会員数の増強**

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

## 7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、2018 年には福岡支部にて MAW2018 が開催され、東京支部からも参加した。引き続き 2019 年には仙台支部にて MAW2019 開催を予定しているため、支部からも参加し、成功に向け支援を行う。

## 8. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

Japan Council に所属していた各 Chapter を適切な支部に所属させる移行手続きは、2014 年より着手してきたが、本部への申請が 2016 年度に全て完了した。Chapter の移行支援を行っていた東京支部 Chapter Promotion Committee は、2016 年に Chapter Operation Committee と改められ、継続して東京支部所管の Chapter に関する MOU 締結審議等の運営支援を行う。

## 9. 関連組織との連携、協力

- **Japan Council 運営の支援**

国内他支部 (8 支部) との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

- **IEEE 本部、R10 との連携**

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。

また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

- **ボストン支部およびソウル支部との交流**

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU 更新作業を継続する。

以上

## IEEE 東京支部 2019年予算 (活動ベース)

2019.03.11

単位：JPY

想定レート：US\$1=¥105- (18年8月末 TTB¥110 -¥5)

【収入の部】	2019年予算	2018年決算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	92,506	講演会等の懇親会徴収分
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,007,095	3,169,462	\$28,639- (予測)
YP Rebate	30,975	32,647	\$295- (予測)
LMAG Rebate	30,975	32,648	\$295- (予測)
SB Rebate	0	53,737	
Chapter Rebate	917,175	967,268	\$ 8,735- (予測)
320 Region Receipts LMAG FUND	0	0	\$ 1,250- (予測 STEP500、SYWL WS750)
YP FUND	131,250	118,236	
その他 Fund等	0	673,523	
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,235,020	2,012,234	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	176,800	176,800	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	14,900,130	15,478,723	\$141,906-(2018年前期実績+後期予測)
340 雑収入 (CB口座)	9,000	22,664	
345 雑収入 (CB以外)	1,000	85	
<b>収入合計</b>	<b>21,439,420</b>	<b>22,830,533</b>	
【支出の部】			
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	50,000	317,168	(18年は12月懇親会分含む)
その他会合費	50,000	0	マイルストン関連費用等
総会運営費用	650,000	589,276	
講演会開催費用	400,000	377,759	
480 Student Activities SB支援費	700,000	213,811	
SB Rebate支払	0	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate&Fund&支部補助)	130,975	119,408	Fund等込み (支部支援 ¥ 100,000-)
YP活動費 (Rebate&Fund&支部補助)	462,225	646,181	Fund等込み (支部支援 ¥ 300,000-)
SIGHT (Fund支払)	0	368,798	
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	14,900,130	15,475,723	
Chapter Rebate 支払い	917,175	977,371	
事務局費1 計	2,500,000	2,316,248	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	175,000	135,358	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	342,800	290,696	東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費	700,000	513,585	
<b>支出合計</b>	<b>21,978,305</b>	<b>22,341,382</b>	
収入－支出	-538,885	489,151	
前年度からの繰越金	7,753,146	7,263,995	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	<b>7,214,261</b>	<b>7,753,146</b>	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

**2019年東京支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	吉田英一 Eiichi Yoshida	産業技術総合研究所	<i>for leadership in the development of modular reconfigurable robotic systems</i>
2	東京	伊藤 弘 Hiroshi Ito	北里大学	<i>for contributions to high-speed photodiodes for millimeter and terahertz wave generation</i>
3	東京	多田宗弘 Munehiro Tada	NEC	<i>for contributions to copper interconnects for very-large-scale integration</i>
4	東京	高村誠之 Seishi Takamura	NTT	<i>for application of video coding</i>
5	東京	劉 少英 Shaoying Liu	法政大学	<i>for contributions to the design of Structured Object-Oriented Formal Language</i>

**2019年他支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	馬場 吉弘 Yoshihiro Baba	同志社大学	<i>for contributions to electromagnetic modeling of lightning</i>
2	福岡	安浦 寛人 Hiroto Yasuura	九州大学	<i>for contributions to energy-efficiency and dependability of Very Large Scale Integration designs</i>
3	福岡	砂川 賢二 Kenji Sunagawa	九州大学	<i>for contributions to cardiovascular mechanics, baroreflex dynamics, and bionic cardiology applications</i>

**2019年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者****【Medals】**

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE JUN-ICHI NISHIZAWA MEDAL	荒川 泰彦 (東京大学)	<i>For contributions to the development and commercialization of quantum dot lasers</i>

**【Technical Field Awards】**

No.	名称	氏名	Citation
1	MASARU IBUKA CONSUMER ELECTRONICS AWARD	青山 友紀 (東京大学)	<i>For pioneering contributions in super-high-definition image technologies leading to 4K digital cinema and television</i>
		早坂 高志 (ジェムコ)	
2	IEEE ANDREW S. GROVE AWARD	久本 大 (日立)	<i>For pioneering work in the manufacturing of three-dimensional double-gate MOSFET devices</i>
3	IEEE RICHARD HAROLD KAUFMANN AWARD	多田隈 進 (千葉工大)	<i>For pioneering contributions to high-power converters and drives for high-speed-train and industrial applications.</i>

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Operations
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
  - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $2/3$ ) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

- 
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29<sup>th</sup> March 2016.



事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)